

上田市教育委員会 12月定例会会議録

1 日 時

平成23年12月21日(水)

午後2時30分から午後3時52分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委 員 長	西田 不折
委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	城下 敦子
委 員	小市 正輝
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

小市教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、浅野生涯学習課長、小山人権同和教育政策幹、土屋文化振興課長、佐藤体育課長、下村丸子地域教育事務所長、藤沢真田地域教育事務所長、掛川武石地域教育事務所長、倉島第一学校給食センター所長、大滝上田図書館長、山寄城南公民館長

あいさつ

< 協議事項 >

(1) (仮) 丸子図書館について

資料 1 により大滝丸子金子図書館長説明

西田委員長

この図書館の発祥のいわれについてはどこかに掲示されるのか。

大滝丸子金子図書館長

館内に表示する予定である。

西田委員長

提案のあった丸子図書館の名称、所在地、開館閉館時間の 3 点について、教育委員会として了解してよいか。

全委員 了承

< 報告事項 >

(1) 上田地域定住自立圏共生 ビジョンについて

資料 2 により中村学校教育課長説明

城下委員

スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの違いは何か。それぞれの活動や内容を教えてほしい。

中村学校教育課長

スクールカウンセラーは、カウンセリングの資格を持った人が採用されているが、児童生徒の相談ごとに対して教員・保護者等を含めて助言を行うことが主な仕事である。いわゆるカウンセリングの仕事が中心になる。

スクールソーシャルワーカーは、社会福祉士の資格を持った人で、家庭等に課題がある児童生徒に対して、家庭まで入り込んで家庭や学校について児童生徒の悩みを聞き調整する機能を持った人である。

城下委員

スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの事業が 2 本立てになっているが、お互いに連携し合うことはないのか。

中村学校教育課長

カウンセラーとソーシャルワーカーは目的が違うが、全く連携しないということではなくケースバイケースで連携することはある。カウンセラー1名、ソーシャルワーカー1名を上田地域圏内で雇う予定であり、ケースによってはソーシャルワーカーが中心になってカウンセリングをすることもある。

小市委員

教育・文化に関わる事業は非常に大事だが、内容として^{あと}後指導に関わる部分に多くの予算をかけている。^{あと}後指導にはたくさんの経費と労力、時間がかかるため、事前の予防的な措置を取ることで早期の改善を目指したほうがよい。今後、事業を修正する機会があれば取り組んでいただきたい。子どもたちは、高等学校へ行くなど、またどこかで会うこともあるので、こうした対策を取ることは非常に大事だと思う。

また、計画の中で発達障害に関わっては保育園と限定になっているが、小・中学校、高等学校でも発達障害の生徒の対応に困難を極めることもあるため、個別の支援計画などのシステムをつくりながら継続していけばよい。

中村学校教育課長

予防は大事だと考えている。研修会はそうした意味での開催であり、これまで上田市でも行ってきたが上田圏域全体でやるのが良いと考えている。また、情報交換会は、予防的なことも含めて、情報やアイデアの交換をしていただきたい。来年度以降、必要に応じて行っていこうと考えている。

発達障害については福祉分野であり本日は説明しなかったが、現在も連携を取り合い保育園だけでなく小・中学校等を含めた発達支援を行っている。すでに上田市には発達相談センターができており、広域での発達支援センターの設置等は想定しづらいためソフト部分での連携となる。

西田委員長

事前の取り組みを広域でやることについて、よろしく願いたい。

金子委員

定住自立圏構想に関して、市で中心になって対応している課はどこか教えてほしい。

12, 13ページの「圏域の不登校児童・生徒の相談支援体制を充実する」取り組みに関して、6番の事業はイメージできたが5番は情報交換会だけであり、4つの市町村が連携するのにもったいない。例えば青木村は自然を考慮した教育をしているが、こちらで問題のある子どもを青木村に少し預けてみるなど、4市町村が連携する具体的な対策は考えられないか。今後の見込みを聞きたい。

中村学校教育課長

定住自立圏共生ビジョンは政策企画課が担当しており、これまで外部の各定住自立圏域から推薦された委員 25 名が集まり懇談会を行ってきた。それぞれの取り組み方法を説明して意見をまとめたのがこの資料である。

情報交換会は中心市の呼びかけによる開催だが、まだ詳しくは決まっていない。来年度以降に、われわれ職員や相談所の指導主事等が集まりビジョンに修正をかけながら進めていくことになる。今まで市町村間の取り組みの情報交換がなかったので、まずは行うというもの。新しい取組があるならば、ビジョンを修正してやっていくということである。

西田委員長

上田市が中心だが、周辺の市町村との役割分担はどうか。

中村学校教育課長

基本的には中心市が担当であり、事務的なことも上田市が行う。カウンセラーとソーシャルワーカーについては、法律で決められたものではないため、どこの市町村で雇用しどう実施するのか課題がある。とりあえずは、上田市の職員として雇用して自治法に基づく派遣の形で関係職場に派遣しようと考えている。

西田委員長

市町村にはそれぞれに特色があるので、その特色を活かせる方法が今後の課題であり、また、従来の方法ではカバーできない部分を周辺市町村と連携に行わなければならない。群馬県の嬭恋村や坂城町が加わった経過はどうか。

中村学校教育課長

定住自立圏の概要資料 2 - 2 の 2 ページに周辺市町村とあるとおり、「中心市と近接し、経済・社会・文化又は住民生活等において密接な関係を有する市町村」ということである。坂城町は、通学・通勤において 10 % 以上が上田市へ通うため上田市長から坂城町長に呼びかけた。立科町、坂城町も同様である。群馬県の嬭恋村については、10 % に該当せず、なおかつ県を挟んでの協定となるが問題ないとのことである。

全委員 了承

(2) 平成 24 年上田市成人式実施概要

資料 3 により浅野生涯学習課長説明

金子委員

記念品は毎年変わっていないが、誰がどういう経過で決めるのか。

浅野生涯学習課長

その年度の最初の実行委員会で、新成人の方たちと相談して決めている。いくつか候補を挙げ、その中でどれがいいか選択している。

金子委員

他の候補はどんなものか。

浅野生涯学習課長

予算との関係もあるが、名刺入れなどであった。

金子委員

今どきは朱肉付きの印鑑入れを持ち歩かないので、名刺入れのほうがよい気もするが、新成人の希望ならそれもよい。

浅野生涯学習課長

かつて、名刺入れの時期もあった。若者には名刺入れよりも印鑑入れのほうがイメージしやすいのかもしれない。

城下委員

地域によって、保護者が入る会場と入らない会場がある。会場の広さもあるが、多少狭くても会場に入りたいという保護者もいると思うが、取り扱いはどうか。上田文化会館では、親は入場できないという雰囲気事前に親の中で流れた。

浅野生涯学習課長

保護者の参加については、特に禁止していることは一切ない。確かに文化会館は、例年親が入らない。一般席も設けているが、出席者が少ない。

城下委員

「どうぞ」(親も入ってください)というインフォメーションを出したらどうか。満員で入れなくなるとはいけないが。

浅野生涯学習課長

そうした配慮もある。

西田委員長

武石会場は、昨年、結構お母さん方が来ていた。

城下委員

逆に保護者がいると静かである。保護者は我が子が見たくて来ている。保護者が後ろに
いると新成人が大人しいというのは、いいのか悪いのか分からないが。

金子委員

会場によって随分雰囲気が違う。いろんな会場に行かせてもらっているのに、こんなに
違うのかというくらい違うことがわかる。残念なのは、子どもじみた騒ぎ方をする会場が
あることである。来賓だけを前に座らせるのではなく、成人を前に座らせ、来賓や保護者
は後ろでお祝いしてあげるのも感じが変わっていいのではないか。

西田委員長

ひと頃に比べれば、賑やかな振る舞いはなくなっている。それぞれの会場でお祝いごと
が無事進むよう、担当職員は大変だと思いがお願いしたい。

全委員 了承

(3) 4 大学リレー講座 2011 「未来学科」事業報告

資料 4 により浅野生涯学習課長説明

金子委員

出席者が増え、良いことである。特に男性の数がとても増えた。土・日の開催が正解だ
ったのかもしれない。

全委員 了承

(4) 新城南公民館建築に伴うレリーフの設置について

資料 5 により山崎城南公民館長説明

金子委員

館内に原画を置くとのことだが、コテアートは外から見える位置にあるのか。

山崎城南公民館長

コテアートの飾壁は南小学校の通りに面しており、通りからは直ぐ見える。

西田委員長

議決された公民館建設の予算で起工されていると思うが、レリーフ設置にはかなりの経費がかかると思われる。その資金はどうするのか。

山崎城南公民館長

コンクリートの飾壁部分は、デザインとして城南公民館に付ける予定で市が設定しているものなので新たな費用はかからない。

ただし、原画の作品については、これから教育委員会で寄附を募るつもりであり、総額で約500万円を予定している。作品については420万円くらい。さらに、高額な寄附をしてくれた方には、原画の版画をつくって差し上げたい。これらの雑費を含めて500万円を予定している。

西田委員長

近隣にコテアートの職人はいるか。

山崎城南公民館長

岡谷市に小口コテアートがある。そちらに依頼して製作もらう。

西田委員長

500万円を、これから地元で集めるという理解でよいか。

山崎城南公民館長

そうである。市長、副市長に報告し、地元の皆さんにも決裁等をいただいた。

西田委員長

「うだつが上がらない」と言うが、この「卯建」も「うだつ」と言えるか。

山崎城南公民館長

よく分からない。作家の柳沢京子さんが付けた作品名なのでいろいろ言えない。

金子委員

設計の段階でこういう案があったのか。

山崎城南公民館長

当初の基本設計にはなかった。城南公民館のデザインとして、壁を設けて何かを描いたりスペースに作品を設置したらどうかという話が出た。いろいろな案があり、検討した結果この作品になった。

全委員 了承

(5) 第15回うえだ城下町映画祭実施報告

資料6により土屋文化振興課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

(6) 平成23年度わくわく芸術体験開催結果

資料7により土屋文化振興課長説明

城下委員

芸術体験の開催校は学校からの希望で決めるのか。

土屋文化振興課長

中学校には、校長会で説明して希望を取って決めた。

城下委員

昨年も今年も能は三中である。なるべく偏らずいろいろな学校で開催できればよいと思うが、日程調整など上手くできないか。

また、学校ごとに貴重な講演会やコンサートがあるが、地域の人にも声をかけられる会になればもっとよいのではないか。

土屋文化振興課長

学校には、希望という形をお願いしているが殺到するほど応募がない。学校もスケジュール的に難しいのだと思う。三中はこの行事が年間計画に入っているようだ。

また、学校PTAや近隣の方にお集まりいただくのもいいと思う。授業中なので学校と相談しながら進めていきたい。

金子委員

若い人たちが一流のものに触れる機会があるのは、素晴らしいことでありがたい。アーティストはどうやって決めるのか。その予算はどこから出ているのか。

土屋文化振興課長

能は、毎年上田城跡能をやっており、観世会の上田支部の方を通して行った。3回以降

は、協力が信州国際音楽村になっているが、信州国際音楽村でコンサートや公演があったときに学校へもお願いしている。予算的には15万円くらいでやっており、そんなに高くはない。教育委員会で予算を出している。

小市委員

日程が決まるのはいつごろか。あるいは来て下さる方が決まるのはいつごろか。

土屋文化振興課長

観世会はこちらと調整して決めるが、その他は音楽村で招聘するのに合わせている。海外の方は1年前くらいから決まっている。その他も、早ければ1年前くらいである。

小市委員

学校の日程を立てるにも、できるだけ早いほうがいい。

西田委員長

生徒児童の感想はどこかでくみ上げているか。学校でやっているのか。

土屋文化振興課長

今手元にないが、アンケートを行っている。

西田委員長

子どもたちの生の声が聞けたらいいと思う。能や落語の関係はなかなか面白い。

全委員 了承

(7) 行事共催等申請状況について

資料8-1により中村学校教育課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

資料8-2により浅野生涯学習課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

資料 8 - 3 により土屋文化振興課長説明

質疑意見なし

全委員 了承

< その他 >

西田委員長

信毎主催の駅伝で上田東御小県が3位になった。活躍し、上田という名前が活字や報道で出るのは嬉しい。チームからの後援依頼等はあるか。

佐藤体育課長

上田東御小県のチームとして長野県駅伝に参加することは例年決まっており、上田市、東御市、青木村及び長和町がそれぞれこの駅伝チームに補助金を支出している。チームの皆さんは大会後、3位入賞の報告に市長を表敬訪問した。古戦場ハーフマラソンやともしびの里駅伝等にもトレーニングも兼ねて出場しており、常に上位入賞を果たしているので普段から交流はある。ビルレッティ監督も大会前後には体育課に報告に来ている。

西田委員長

財政的に苦勞しているようだが、どのくらい上田市から援助しているのか。

佐藤体育課長

4つの市町村全体で40万円であり、そのうち上田市分は26万円程度である。

西田委員長

上田だけでなく小県郡も含まれるが、地元が活躍するのは大変嬉しい。バックアップでできればいいと思う。

全委員 了承

資料「公民館だより」により山壽城南公民館長説明

全委員 了承

閉会